

山本みのもる後援会だより

たつの市議会議員辞職のごあいさつ



拝啓

残暑の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと

このたび8月31日をもちましてたつの市議会議員を辞職することになりました。

在職3年4か月の間、たつの市議会にて大過なく勤めることができましたのは、偏に市民の皆様はじめ同職の皆様方の公私にわたる温かいご厚情とご指導の賜と心から深く感謝申し上げます。

思い起こせば、たつの市職員として41年間在職した後、更なる市民生活の向上とたつの市の発展をめざし、平成25年10月の市長選挙に出馬しましたが惜敗。

あきらめきれぬ強い信念と熱い想いを胸に、平成26年4月の市議会議員選挙に当選させていただきました。

3年4か月間の議員活動を振り返ってみますと、「葛藤」と「改革」の二言につきます。

長年勤務した、たつの市行政側に対して厳しく指摘する場面が多々ありました。

たつの市を少しでも暮らしやすいまちにしたい、たつの市で暮らす皆様の幸せに少しでも貢献したいという想いから、行政の政策と市民の皆様の声の間で葛藤する毎日でした。

しかしながら「市民目線」「住民主義」がモットーの私です。

たつの市職員の皆様には数々の厳しい指摘をしましたが、市民の声や想いを伝える過程で行政側の意識の変化や気持ちの変化を感じることができました。

私自身は小さな小さな存在に過ぎません。

その小さな存在の私ではありますが、行政と住民が歩み寄る改革の小さな架け橋の一端にはなれたのではないかと考えております。

たつの市民の皆様に対しては、平成28年4月より市内28,000世帯を訪問させていただきました。

訪問させていただいたすべての方とのお話はかないませんでした。約半数の方から貴重なご意見と葉書(2,700枚)によるご意見ご要望をいただくことができました。

たくさんのご意見ご要望は、たつの市に対する希望や期待に他なりません。

希望や期待の一つひとつにこたえていきたいではありませんか。

特にご意見・ご要望が多かったのは、子育て、高齢者、要介護者、障がい者、政務活動費等に関することでした。

「たつの市が抱える問題」は、「たつの市が解決していける問題」である。

私はそう思っております。

これからも皆様からいただいた貴重なご意見ご要望を一つでも多くかなえられるよう全身全霊尽力してまいります。

「希望が持てるたつの市」

「夢が叶えられるたつの市」

「みんなで創造するたつの市」

一緒に創造りませんか？

一緒に創造りましょう！

「新しいたつの市」の創造をここに誓うと共に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたしましてお礼方々辞職のご挨拶とさせていただきます。

敬具

平成29年8月31日

山本実

山本みのるのあいさつ



『初志貫徹』初めに心に決めた志や目標はどんなに困難であっても最後まで貫き通すこと。

私にはその精神が根っから染み付いているのか、志半ばで諦めることのできない性格であります。

前回市長選では悔し涙を流しましたが、たつの市の再生に命をかけて尽力することを強く強く決意した4年間でもありました。この4年間は決して無駄なものではなく、市域を自転車で回り、たくさんの市民の皆さまから貴重なご意見を伺い、多くの課題と共に再チャレンジする活力をいただくことができました。

私は、41年間勤務したたつの市で技術職として『現場主義』に徹してまいりました。迅速に現場に駆け

つけ、柔軟な対応と判断で問題を解決に導くことが求められる日々でした。技術職だからこそ培うことができた『現場主義』が身に染み付いていると自負しております。退職時は総務部長を務めさせていただき、多くの職員を統率する中で、現場を最優先して業務に取り組むことを徹底した後進育成に努めてまいりました。市民の皆さまが生活されている現場にこそ解決すべき課題があり、市民の皆さまの声にこそ解決策が隠れているのです。足を運び目で確認した現場の問題と、そこで生活される住民の声を市政に反映することこそが、私の使命だと改めて感じております。『現場主義』は、たつの市職員が叩き込まれたまちづくりの根幹的な考えであり、現市長以前のリーダーから受け継がれた尊い教えでもあります。将来に負担を先送りする無計画な現市政を軌道修正し、市民の小さな声の実現できるまちづくりを取り戻そうではありませんか。

ところで、皆さんは『もったいないばあさん音頭』をご存知でしょうか。

先日、地域の行事の中で子どもたちが踊るもったいないばあさん音頭を拝見しました。本来「もったいない」とは仏教用語で、ものの本質を見極めようとする気持ちを大切にすることを表している言葉なのです。「もったいないことしてないかい？」と子どもたちに問われて、胸を張って説明できる市政が行われていると思われませんか？

税金に関する大きな疑惑に対して何一つとして説明責任を果たしていないリーダーの行き当たりばったりな政策の数々。現市長は耳ざわりの良い言葉で無計画な政策を行う傾向があり、たつの市の将来を考えるにあたって、私は大きな不安と「もったいない」という感情を抱いております。

例えば、市民まつりの日として定着していた日程を思いつきで変更し、市民や団体を振り回したにも関わらず、翌年には何事もなかったように元に戻したり、将来的に大きな債務を伴うことから前市政が再検討すべき事案とした給食センターを建設したり、何ら所縁のないコビントン市と姉妹都市提携を結ぶなど、短絡的な考えや一時的な利益を優先した政策を行っておられることが挙げられます。それらはすべて市政運営の本質を見失っているように感じられるのです。

定住促進についても同様です。日本国民の人口が減少している中でたつの市だけが定住人口を増やす政策などはあり得ないのです。住民の取り合

い合戦に血税を補助金として投入するのはもったいないのです。そんなことよりも、現在たつの市で生活される市民の皆さまの暮らしの向上を考えることが優先なのです。目の前にある大切なものを大切にすることで、「このまちに生まれてよかった」「このまちで暮らしたい」と実感できるのではないのでしょうか。

また、現市政では、合併から10年を経て、『挑戦』へギアチェンジを図るとのことですが、その挑戦が市政を担うリーダーの自己満足やパフォーマンス的施策であってはならないのです。現状と向き合い、現状を維持できる自治体力を保持しつつ将来を見据えた政策を打ち立てることが本当の意味での『挑戦』だと思うのです。

本市は福祉制度が充実していないという声も伺います。

人口が減少している中で大きな給食センターを建設することよりも、子ども、若年者層、介護世代、障がいのある方、高齢者の生活向上に目を向け、小さな声を聞き逃さずに市全体で解決していける福祉先進都市を実現していきたいのです。

もちろん、必要だと判断するハード面について疎かにするつもりはございません。必要なものは必要なのです。必要以上のものをつくり、保持することがもったいないのです。

人口や税収の減少が、まちの活力の減退と比例するわけではありません。

人口や税収の減少は、市民の皆さまのアイデアや熱い想いと、行政の知恵や工夫で補うことができるものと確信しております。

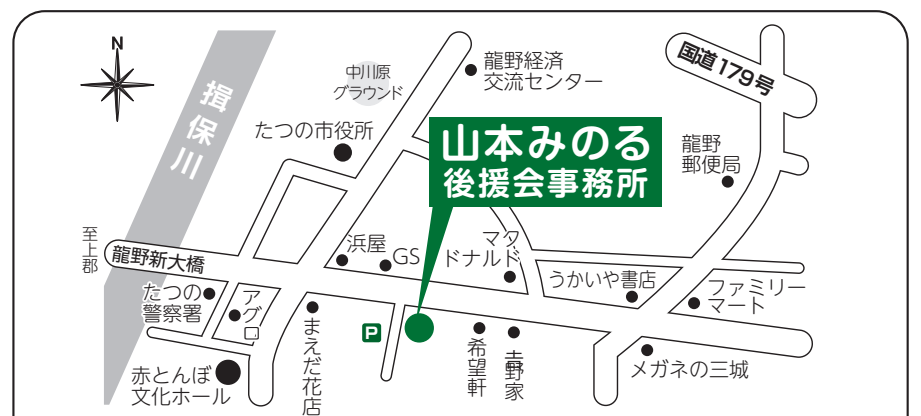
希望が持てるたつの市、夢が叶えられるたつの市、みんなで創るたつの市を、もう一度取り戻したいのです。

前回選挙では知名度も実績も無い私に、たつの市のリーダーを任せることに不安を感じられた市民の方もいらっしゃると思います。

しかしながら、この4年間でたつの市の将来をしっかりと見つめ直した私をどうか信頼していただき、大人たちが生き生きと活躍でき、子どもたちが誇れるまちづくりをさせていただきたいのです。

そんなたつの市を皆さまと共に創っていきたいのです。

なお、政策については後日発行のリーフレットにてご報告させていただきます。



山本みのる 後援会事務所

〒679-4167 たつの市龍野町富永 770-7
TEL(0791)64-6020 FAX(0791)64-6022

山本みのる.net

事務所開所時間: 10:00~18:00

facebook: <https://fb.com/yamamotominoru8>
メール: yamamoto.426@rb4.so-net.ne.jp

山本みのる プロフィール

- 昭和27年4月26日 たつの市龍野町山に生まれる
- 市立小宅小学校卒業
- 市立龍野東中学校卒業
- 県立龍野実業高等学校卒業
- 昭和47年 旧龍野市奉職
- 平成19年 たつの市下水道部長
- 平成21年 たつの市都市建設部長
- 平成23年 たつの市総務部長
- 平成25年 たつの市防災監(顧問)
- 平成25年10月 市長選挙 立候補し落選
- 平成26年 4月 市議会議員 当選
- 平成29年8月末 市議会議員 辞職
- ◆西播磨サッカー協会理事長
- ◆たつの市体育協会副理事長
- ◆たつの市スポーツ少年団副本部長
- ◆龍野フットボールクラブ代表